

ガク民改革

第5号

発行日：2012年7月18日(水)

文責：苫小牧東高等学校 生徒会執行部環境部会

◎苫小牧市の節電対策

苫小牧市の岩倉博文市長は(6月)13日、記者会見し泊原発の停止に伴い電力不足が懸案となる今夏の節電対策を発表した。

7月23日から9月14日の間、180公共施設で猛暑だった2010年夏と比較して7%以上の節電を目指す。照明器具の切り替えや空調の運転時間の短縮など地道な取り組みを重ねる。取り組む時間帯は午前9時～午後8時。岩倉市長は「電力使用者の一人として率先した取り組みを行い、市民にも広く節電の取り組みを呼びかけていく。十分周知を図る。」と話した。

(6/13付 苫小牧民報より一部抜粋)

この記事を読んだ人もいるかもしれませんが、苫小牧市では2010年夏と比較して7%の節電を目指しています。

昨年度より温室効果ガス削減などを目的とした、苫小牧市役所エコオフィスプランを実施しており、節電は温室効果ガス削減に最も効果のある対策の一つであるため、7月23日から9月14日までの期間、本庁舎においては、中央エレベーターのうち1基の使用を停止する他、昼休み時間、一部の窓口を除き照明を全て消すなどの取り組みにより約9.2%の節電を目指すなど、市役所一丸となって取り組む行動計画を集約いたしました。

(苫小牧市HPより市長記者会見を一部抜粋)

これは、6月13日の記者会見で市長が説明をした内容です。ここで言いたいのは、節電は単なる電力不足によるものだけではなく、地球温暖化を止めるためにも役に立つということです。

北海道電力のホームページには、学校における電力消費の内訳が載っています。それによると、夏期の就学日におけるピーク時は照明が全体の約74%を占めています。グラフの照明比率の構成としては、おおむね、体育館：教室・職員室・廊下＝1：6となっています。このことから、どれだけ照明の電力消費量が多いかがわかりますよね。ですから、照明を消すというのは学校における節電で最も有効なのであります。我が校の体育館で照明の間引きができないか確認したところ、ブロックごとに照明がついたり消えたりするので、無理だということが判明しました。これと同じように、苫小牧市総合体育館でも照明の間引きが難しいということです(7/5付 苫小牧民報より)。



照明で約74%

◇節男の部屋◇ NO.3

みなさんは、廊下の電気のスイッチの上に右のようなものが貼ってあるのを見ましたか？これは、廊下のスイッチの一方がついていなくても電気は互い違いにつくようになっているので両方つける必要はないと考え、それを啓発するために貼ったものであります。実際、皆さんもそう思いませんか？もちろん、**必要なときには両方つけてもらっても構いません**。ですが、昼間は明るいですから両方ついている必要はないように思われます。ですので、ご協力のほどよろしくお願い致します。また、トイレの洗面所の電気も未だについています。消すように心掛けてください。

両方につけないで片方だけに！！

節電にご協力ください。